

会 議 記 録					
会議の名称	平和人権対策特別委員会			会議場所	第3委員会室
				担当職員	池永 菜穂子
日時	平成23年11月24日(木曜日)			開議	午後 3時 55分
				閉議	午後 4時 34分
出席委員	◎酒井 ○齊藤 並河 井上 中澤 木曾				
執行機関出席者					
事務局出席者	八木主任、池永				
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・否	市民 1名	報道関係者 0名	議員 0名()	

会 議 の 概 要

1 開議

2 ヒューマンフェスタについて

<酒井委員長>

自由討議とする。昨日参加した感想は。

<井上委員>

昨年より人が多かったがフリマに人が多く、各ブースやαステーションはそれほどでもなかった。正木さんの講演には人が入っていた。バラバラで一体感に欠けていた。同日開催にしたなら意思統一をするべきだった。

<齊藤副委員長>

同日開催である位の集客であれば、別々に開催すればもっと少ない。一緒にして良かった。内容は「何をしているのか分からない」と言う人もいた。ただ、フリマには相乗効果もあるかもしれない。妊婦の参加も多かった。

<木曾委員>

ヒューマンフェスタは過去2日間あり、1日で3千人来ていた。財源の問題が大きい。予算削減で1日になり、更に他のものと一緒になった。どういう趣旨でやるのかをもう一度確認する必要がある。内容はバラバラであった。もっと良い方法があるのではないか。

<並河委員>

統一性がなかった。ゆうあいフォーラムは同日開催により人が多く、年配の方や男性も参加されていた。イベント目的の家族連れが多かった。ゆうあいフォーラムとヒューマンフェスタでは目的や趣旨が違うので、様々な人への運動を強めるという面ではうまくいかない面もある。同日開催で良いかどうかは、実際に活動された団体の話を聞くのも大事。ゆうあいフォーラムにもっと力を入れてほしい。

<中澤委員>

人集めとPR面から同日開催にし、結果、経費節減になった。1日が良いという各団体の要望もある。反省点は伝え、次年度以降も同日開催が良いのでは。高齢者から子どもまでが対象なので、内容がバラバラなのはやむを得ない。なお、女性集会

は教育委員会所管で「研修」に重きをおいており、一緒にするのは難しい。

<酒井委員長>

映画と動物園に集客力があつた。リストバンドがないと動物園に入れなくなっており、それだけで終わらせない工夫はあつた。ただ、同日開催なら、こちらはヒューマンフェスタ、こちらはゆうあいフォーラム、と分ける必要はなかつた。アンケートも別だつた。同じ人権啓発課の事業なのに、なぜ一緒に企画できないのか。参加者には「ゆうあいフォーラムと女性集会の違いが分からない」と言われた。

<中澤委員>

女性集会は個々のテーマを分け、個人の勉強・学習に重きを置いている。イベントとは性格が違う。

<井上委員>

「ゆうあい」と聞いても何か分からない。ヒューマンフェスタやゆうあいフォーラムの趣旨を理解して「行こう」とは思わない。「動物園」等で釣って人を集めるのか、趣旨を理解して来てもらうのが難しいところである。

<木曾委員>

事業内容を見直すのか予算的な充実を求めるのか整理する必要がある。ゆうあいフォーラムとヒューマンフェスタを合体した大きなテーマを作つた方が人寄せも予算取りもしやすい。もう少し予算を取り、興味を持てるような講師を呼ぶ必要があるのでは。

<並河委員>

担当部署の話も聞き、こちらの思いも伝えるのが良いのでは。

<中澤委員>

理事者の総括を聞く場が必要。

<井上委員>

特別委員会の意見を集約して、担当課を交えながら話をしては。

<木曾委員>

その際、各委員がバラバラの意見を言うと担当課が混乱する。特別委員会の意見を一定集約してからの方が良い。

<酒井委員長>

事業内容についての意見を出さないと、予算がこのままで良いのか増やすべきなのかは分からない。

<木曾委員>

フリマや動物で人寄せをして他の事業を立ち上げる方が良いのか。そちらがメインになり、趣旨が違う方に行っているような気がする。

<齊藤副委員長>

フリマは偶然ではないのか。

<中澤委員>

ゆうあいフォーラムのメニューに入っていた。

<酒井委員長>

「同時開催」として入っているだけでは。

<齊藤副委員長>

どこで何を行っているのか分かりにくかつた。それを明確にすれば違ってくるのでは。

<木曾委員>

フリマは2階でやり、ヒューマンフェスタとゆうあいフォーラムを1階でやれば良かったのでは。

<齊藤副委員長>

会場の料金の問題があったのでは。

<木曾委員>

客をまず上に集め、そこから下りてもらう方が参加してもらいやすい。コンベンションと響ホールでゆうあいフォーラムとヒューマンフェスタをした方が良かった。

<井上委員>

荷物の搬入の面でフリマは1階の方が良かったのでは。ただ、一体感を持たせる意味では、1階を統一した目的にした方が良かった。また、駐車場係をきちんと付けるか、シャトルバスを準備する等の配慮が必要だったのでは。

<中澤委員>

意見をまとめて提案できれば良いが、想定範囲で意見を言っているの、理事者に来てもらって趣旨やねらいも確認しながら話をする方が良いのでは。

<木曾委員>

それで良い。

<酒井委員長>

何を聞くかのポイントは絞った方が良い。今まで出たような内容で良いか。

<井上委員>

バラバラであっても、出ていた意見を事前に知っておいてもらう方が良い。

<並河委員>

行政だけではなく運動体があり、そこを主にする必要がある。

<酒井委員長>

ゆうあいフォーラムでブースを出していた人に「去年より人も多いので一緒にして良かった」との意見をいくつか聞いた。

<並河委員>

初めての試みなので、次に活かせば良いのでは。

<酒井委員長>

今回は出た意見をお伝えして意見交換をすることで良いか。

—了承—

3 犯罪被害者等支援の政策提言について

<酒井委員長>

案を添付している。何か気づいたことがあれば。

<並河委員>

いのちの電話のように、電話をすれば24時間繋がるような体制を希望する。

<酒井委員長>

24時間繋がるようなホットラインを市で作るということか。

<並河委員>

そうである。

<酒井委員長>

前回、皆で意見が一致した中にはそのような意見はなかったが。

<井上委員>

それは難しいのではないか。

<酒井委員長>

皆と意見が一致した中では、大学との連携や、資金的援助、広報支援がある。この文面には明示されていないがどうか。

<木曾委員>

財政的支援は大事。「窓口の設置」の欄にでも「財政的支援」を入れた方がよい。

<酒井委員長>

「民間との連携」の欄の方がよい。

<井上委員>

大学は民間支援団体「等」に含まれるのでは。

<木曾委員>

財政的支援だけ明確にするのでよい。

<酒井委員長>

財政的支援を入れるということで良いか。

<木曾委員>

入れた方がよい。支援の内容は行政に任せればよい。

<並河委員>

財政支援はできても、NPOのようなきめ細かな支援は行政には難しい。

<木曾委員>

行政がやることと民間がやることは別である。

<酒井委員長>

広報の支援はどうか。色々な媒体に支援する民間団体があることを掲載する。

<中澤委員>

「2」を「…民間支援団体等の存在が不可欠であることを踏まえ、「財政的支援等を含めて」民間支援団体等を支援すること」としては。

<木曾委員>

それでよい。

<酒井委員長>

財政的支援を入れるくらいで良いか。

—了承—

4 2011年部落差別・人権侵害報告集会への参加について

<酒井委員長>

齊藤副委員長にお願いします。

<酒井委員長>

次回の日程はどうするか。

—日程調整—

<酒井委員長>

12月15日とする。

5 閉議

散会 4 : 34